



PRESS RELEASE

岡山大学記者クラブ加盟各社 御中

令和 5 年 5 月 24 日
岡 山 大 学造山古墳シンポジウムを開催します

(概要説明)

造山古墳は全長 350m を測る指折りの巨大古墳で、その存在は全国から注目を集めています。その重要性から多くの調査研究チームが分析を行っています。岡山大学・山梨大学を中心とする研究班、国際美術研究所を中心とする研究班、東海大学研究班、岡山市教育委員会の 4 つです。4 つの調査研究チームが一堂に会し、現時点での調査・研究成果を示して検討を行います。今回はとくに墳丘と埋葬施設についての成果に焦点をあて、その成果を論じます。エジプトのピラミッドにおける透視実験で著名なミュオン観測が造山古墳でも実施されていますが、その現時点の観測成果も示します。

シンポジウムの主催は科学研究費基盤研究 (S) 「王陵級巨大古墳の構造分析に関する文理融合型総合研究」研究班 (代表：清家章) です。

1. 名 称 「シンポジウム 文理融合分析による造山古墳の総合的研究」の開催
2. 日 時 2023 年 6 月 4 日 (日) 9 : 30 ~ 15 : 00
3. 場 所 岡山大学文化系総合研究棟共同研究室
4. 対 象 者 一般
5. 定 員 100 名 (定員に達し次第締め切ります)。
6. 申 込 方 法 インターネットによる申し込み (岡山大学ウェブサイトから)
7. 参 加 費 用 無料

<お問い合わせ>

岡山大学学術研究院社会文化科学学域 (文)

教授 清家 章

(電話番号) 086-251-7457

(FAX番号) 086-251-7457

(メール) aseike@okayama-u.ac.jp



文理融合分析による 造山古墳の総合的研究

4つの調査研究チームが一堂に会して
造山古墳の墳丘・埋葬施設に関する
最新の調査・研究成果を公開します。

日程 2023年6月4日(日) 9:30 ~ 15:00

会場 岡山大学文化系総合研究棟共同研究室

(岡山市北区津島中3丁目1番1号)

岡山駅西口バスターミナル22番乗り場から

【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車、「岡大西門」下車

内容

「LiDARによる造山古墳墳丘調査」

光本 順, 山口雄治, ライアン・ジョセフ (岡山大学)

「水平方向の宇宙線ミュオンを用いた古墳観測への挑戦」

居島薫 (山梨大学)・基盤研究Sミュオン班

「ミュオグラフィの最近の動向と造山古墳への応用」

角谷賢二 (国際美術研究所), 林武文 (関西大学),

田中宏幸 (東京大学)

「造山古墳後円部の地中レーダー探査結果と今後の展開」

北條芳隆, 宮原俊一, 白川美冬 (東海大学)

「造山古墳の発掘調査成果」原田悠希 (岡山市教育委員会)

参加費/無料 (事前登録制) 定員/100名 (定員になり次第締め切ります)



申込みはこちらから

<https://x.gd/B8zsY>

問い合わせ先

メールでお問い合わせ

岡山大学社会文化科学研究科 清家研究室

岡山市北区津島中3丁目1番1号

Mail aseike@okayama-u.ac.jp